

ひきこもり支援講演会



ひきこもり当事者の思いと家族の思いを考える

～「7年間誰とも会話なく、ひきこもった私が、部屋から出ようと思った背景」～

ライター兼カウンセラーの^{たきもと ひろき}瀧本 裕喜さんからお話をうかがいます。

3才からヤマハ音楽教室で学ぶが「男のくせにピアノなんかやって」と、からかわれる。地元から離れて、名古屋の高校に進学。卒業後は東京の予備校に通うが、祖母から毎日2時間「人生なんてつまらない」と言われ続け、心が病んでいく。

7年間ひきこもり自問自答の末、ひきこもった自分を認められるようになる。

2020年 NHKスペシャルドラマ『こもりびと』に出演。

現在はライター兼カウンセラーとして活動。

一般社団法人SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワークの情報誌

「SHIP!」の編集部員として、また週末ピアノの演奏家としても活動している。

日時 令和7年12月3日(水) 14時～16時 受付13時30分～

場所 熊谷保健センター(箱田1丁目2番39号)

※お車で越しのかたは市役所駐車場をご利用ください。

対象 熊谷市民

定員50人

講演 ライター兼カウンセラー ^{たきもと ひろき}瀧本 裕喜氏

テーマ ひきこもり当事者の思いと家族の思いを考える

～「7年間誰とも会話なく、ひきこもった私が

部屋から出ようと思った背景」～

申込み 令和7年10月15日(水)から

熊谷保健センターに電話または右記コードから電子申請



※熊谷保健センターは、『こころの健康相談』で月2～3回

ひきこもりの方のご相談もお受けしています。

ご希望のかたは、熊谷保健センターにお電話ください。

熊谷保健センター(熊谷市箱田1-2-39) 048-526-5737

